CastGlobalGroup

日本から輸出する製品の使用者や用途、
中国現地法人で見ているから大丈夫？

日本から中国への輸出と、安全保障貿易管理

～米中摩擦を受けて、中国現地側での管理が今後はさらに重要に

2021年7月

輸出許可の手続さえ通っていれば、
その後の管理は不要？

弁護士法人キャストグローバル
弁護士・中小企業診断士　　金藤　力

©2021 CastGlobalGroup All Rights Reserved

ありませんか？　古い知識や思い込み．．．

日本から輸出している製品の使用者や用途、中国現地法人で見ているから大丈夫？

中国での管理不備が、輸出業務全体に影響

中国向け輸出に関する外為法違反事例では、**中国の現地子会社及び現地スタッフに顧客や用途を確認する取引審査を一任していたことが違反原因**として指摘されている例もあります。（例として、令和2年12月経産省公表の炭素繊維流出事案など）

日本では、以前のココム規制から続く習慣として比較的理解が浸透している安全保障輸出管理ですが、中国現地の方々にとっては全く未知の業務であり、趣旨・目的を理解しないまま形式的な処理に流れてしまいがちです。

中国での管理不備が包括許可の取消など輸出業務全体に影響する事態に発展する場合もありますので、中国現地に任せきりにしてしまうと危険です。

- **日本の制度と運用を正確に理解したうえで、中国現地側での実効性ある管理につき助言することで、管理体制の不備による違反事故の発生を防止します。**

©2021 CastGlobalGroup All Rights Reserved

CastGlobalGroup

ありませんか？　古い知識や思い込み．．．

日本から輸出している製品の使用者や用途、中国現地法人で見ているから大丈夫？

（参考）外為法違反事例の傾向、安全保障貿易ガイダンス

日本の経産省から発表されている違反事例に関する統計を見ると、**輸出管理体制の不備・形骸化や、外為法の認識不足・知識欠如**が、違反原因の最多を占めます。

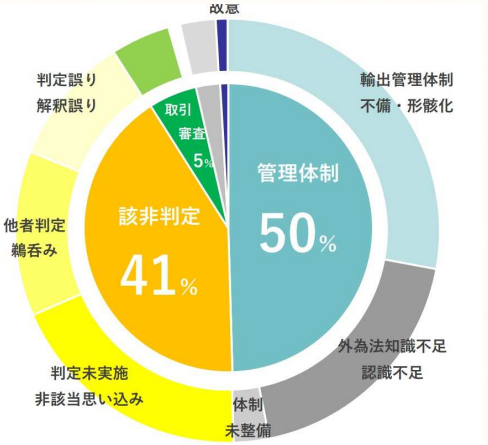
出典：「外為法違反事例について（安全保障貿易関係）」【令和元年度】

https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaitameho_document/ihanjireigaitamehou.pdf

技術的に複雑な該非判定の誤りが多そうなイメージですが、

実はそうではなく、**基本が大切**な業務と言えます。

分類	違反原因	割合
管理体制	輸出管理体制の不備・形骸化	28%
	外為法認識不足・知識欠如	19%
	管理ルール・体制未整備	3%
該非判定	判定未実施／非規制思い込み	19%
	他者誤判定鵜呑み	12%
	判定誤り／法令解釈誤り	10%
取引審査	許可不要特例適用誤り	4%
	許可申請等誤り	1%
出荷管理	出荷・申告時の誤り	3%
故意重過失	故意	1%



なお、日本の経産省からは、令和3年3月に**「安全保障貿易ガイダンス[入門編]」**という分かりやすい資料が公表されています。是非ご活用ください。

https://www.meti.go.jp/policy/anpo/guidance.html

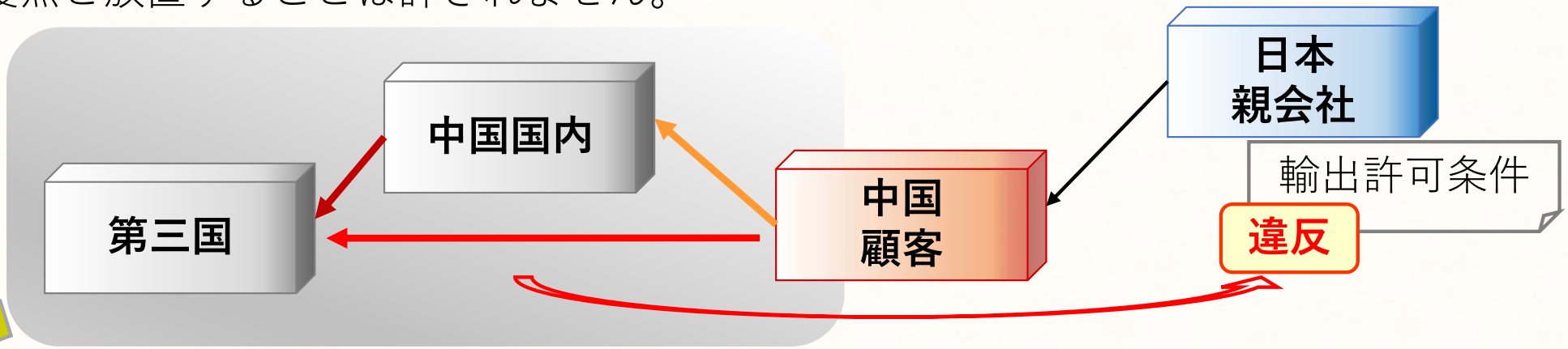
©2021 CastGlobalGroup All Rights Reserved

ありませんか？　古い知識や思い込み．．．

輸出許可の手続さえ通っていれば、その後の管理は不要？

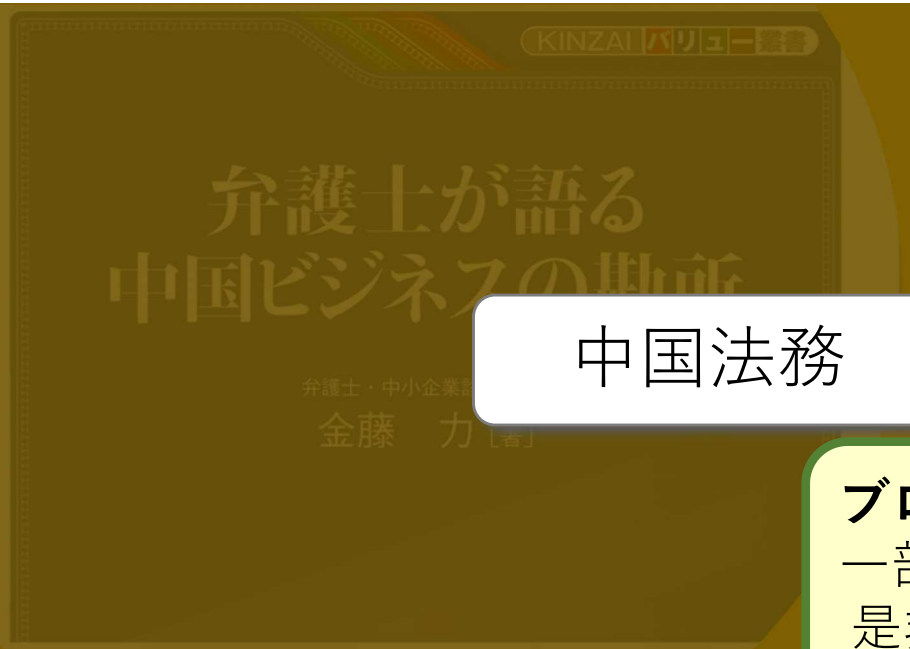
第三者向けに転売・再輸出されてしまう事例も

中国向け輸出された製品が、その後さらに第三国（イラン、北朝鮮など）向けに転売・再輸出されてしまう事例が散見されます。輸出時における輸出許可条件として、第三国への再輸出については改めて許可を得る必要がある旨が定められている場合、漫然と放置することは許されません。



- **中国の各拠点を活用して、中国律師など専門家によるサポートを提供し、中国現地側における管理の実効性・信頼性を高めます。**

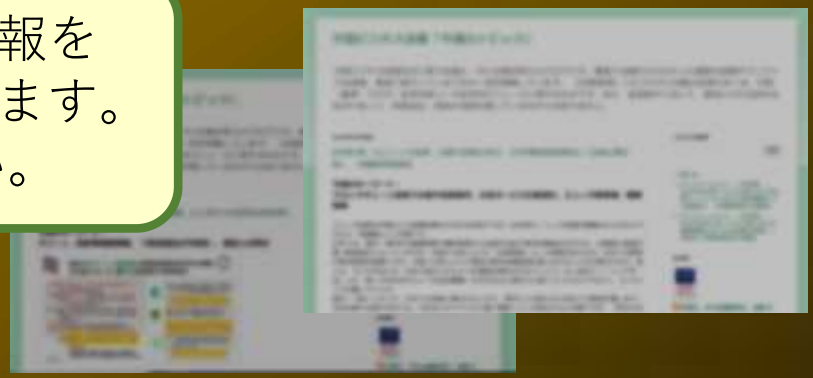
©2021 CastGlobalGroup All Rights Reserved



中国法務　診断

検索

ブログでも最新情報を
一部ご紹介しています。
是非ご覧ください。



弁護士法人キャストグローバル 大阪事務所
パートナー・大阪事務所代表
弁護士/中小企業診断士　金藤 力
E-mail：　kanefuji@castglobal-law.com
Tel：　06-4706-0780（代表）

Webサイト（キャスト中国ビジネス）：
http://www.cast-china.biz/

CastGlobalGroup

©2021 CastGlobalGroup All Rights Reserved